

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
0633	青果部市場維持管理事業	農林水産部	中央市場課	2
0633	青果部市場施設整備事業	農林水産部	中央市場課	3
0633	青果部業務運営事業	農林水産部	中央市場課	4
0633	花き部市場維持管理事業	農林水産部	中央市場課	5
0633	花き部市場施設整備事業	農林水産部	中央市場課	6
0633	花き部業務運営事業	農林水産部	中央市場課	7
0633	松山市中央市場運営協議会負担金	農林水産部	中央市場課	8

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	管理担当	連絡先	924-2311
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	青果部市場維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0633					
政策【分野】	人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる		—	—	
施策	産業を支える基盤づくりの推進	根拠法令	卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則		
主な取組	流通機能の充実				
目的・背景	【目的】中央卸売市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。 【背景】昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。				
対象・内容	【対象】松山市中央卸売市場(青果部)及び関係者 【内容】中央卸売市場(青果部)の維持管理に必要な光熱水費の支払い、保安警備、清掃業務、廃棄物処理、各施設・設備の保守点検業務等の委託を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費	
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	電気代		74,840	
予算 (千円)	事業費計	267,867	245,368	257,581			保安警備業務委託	47,317		
	国費・県費							清掃業務委託	8,573	
	市債									
	その他	267,867	245,368	257,581						
一般財源										
決算 (千円)	事業費計	190,134	198,088			主な 取組 内容 【R7】	・市場施設や設備の維持管理に必要な保安業務、清掃業務、廃棄物処理及び各施設・設備の保守点検業務を実施。			
	国費・県費									
	市債									
	その他	190,134	198,088							
	一般財源									
	(執行率)	71%	81%							
人役	正規職員	2.8	2.8	2.8		特記 事項				
	その他									
	合計	2.8	2.8	2.8						

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	電気使用量の抑制		目標	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000	市場関係者等の節電取り組み成果等による。	
			実績	2,639,662	2,507,889				
	現状維持	kWh	達成率	106%	112%				
成果指標	市場開場日数		目標	248	248	250	250		
			実績	248	248				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市場施設等の維持管理を適正に行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できたため。							
課題	人件費や単価等の上昇により、委託料の増加傾向が続いている。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の維持管理を行うため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	管理担当	連絡先	924-2311
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	青果部市場施設整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0633					
政策【分野】	人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる		—	—	
施策	産業を支える基盤づくりの推進	根拠法令	卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則		
主な取組	流通機能の充実				
目的・背景	【目的】中央卸売市場の施設改修等を適切に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。 【背景】昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。				
対象・内容	【対象】松山市中央卸売市場(青果部)及び関係者 【内容】・開設者として、円滑な市場業務が行えるよう、施設や設備の改修等を実施。 ・中央卸売市場(青果部)の設備等の現状把握、設計業務、工事等の実施。 ・突発的な故障等に対する営繕工事等の実施。 ・委託業者、工事業者等への委託料、工事請負費の支出。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	バナナ加工所B系熟成設備更新工事		147,393
予算 (千円)	事業費計	346,071	265,657	47,471			バナナ加工所高圧ケーブル更新ほか工事		18,546
	国費・県費						青果卸売棟ほか照明器具LED改修工事		14,419
	市債	272,000	221,800	20,000					
	その他	43,971	20,057	27,471					
	一般財源	30,100	23,800						
決算 (千円)	事業費計	147,434	219,076			主な 取組 内容 【R7】	・市場業務が円滑に行えるよう、施設や設備の改修等を実施。		
	国費・県費								
	市債	100,000	183,500						
	その他	18,951	20,713						
	一般財源	28,483	14,863						
	(執行率)	43%	82%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項			
	その他								
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	工事請負費の抑制 (大規模改修等)		目標	195,800	39,800	20,000	0	適切な施設改修等の実施による。	
			実績	177,863	14,419				
	現状維持	千円	達成率	110%	276%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	施設の機能維持を図ることができたため。							
課題	施設の老朽化に伴い、工事請負費が増大している。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の維持管理を行うため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	業務担当	連絡先	924-2311
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	青果部業務運営事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0633					
政策【分野】	人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる		—	—	
施策	産業を支える基盤づくりの推進	根拠法令	卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則		
主な取組	流通機能の充実				
目的・背景	【目的】中央卸売市場の市場取引を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、青果物の流通の円滑化を図る。 【背景】昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の青果物の流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和49年度に松山市中央卸売市場を開設した。				
対象・内容	【対象】松山市中央卸売市場(青果部)及び関係者 【内容】関係法令に基づき、卸売業務の適正で円滑な実施を図る。 ・関係例規の整備。 ・市場関係者の業務の許可、指導、監督。 ・売買取引の監督等。 ・残留農薬検査の実施及びHP等での結果公表。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	残留農薬外部委託検査手 数料		1,276
予算 (千円)	事業費計	4,899	4,224	4,054			卸売業者の財務分析に伴 う公認会計謝礼金		110
	国費・県費						仲卸業者の財務分析に伴 う公認会計謝礼金		110
	市債								
	その他	4,752	4,224	4,054					
	一般財源	147							
決算 (千円)	事業費計	2,381	2,383			主な 取組 内容 【R7】	・残留農薬外部委託検査を実施。 ・卸売業者、仲卸業者の財務分析を実施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	2,381	2,383						
	一般財源								
	(執行率)	49%	56%						
人役	正規職員	3.4	3.4	3.4		特記 事項	市場法改正等に伴う審議会の開催がなかつ たため、報償費の支出は生じなかった。外 部委託検査の入札減少が発生した。		
	その他								
	合計	3.4	3.4	3.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	残留農薬外部委託検査		目標	10	10	10	10	青果物の安全・安心な市場流通のため、定期的に検査を実施している。	
			実績	10	10				
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
成果指標	財務分析 (卸・仲卸業者)		目標	1	1	1	1	青果物の円滑な流通や安定供給のため、関係者の財務分析を実施している。	
			実績	1	1				
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	「安全・安心」な青果物の市場取引のため、適正な残留農薬検査を実施したほか、卸売業者・仲卸業者財務分析を行うことで、円滑な流通や安定供給を行うことができたため。							
課題	食品流通の要として「安全・安心」な生鮮食料品の取引の適正化や円滑な流通を図り、消費拡大や地産地消を推進するとともに、卸売業者・仲卸業者の経営状況を把握に努める。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市場の運営に必要な業務であるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	管理担当	連絡先	924-2311
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	花き部市場維持管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0633					
政策【分野】	人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる		—	—	
施策	産業を支える基盤づくりの推進	根拠法令	卸売市場法、松山市公設花き地方卸売市場業務条例、松山市公設花き地方卸売市場業務条例施行規則		
主な取組	流通機能の充実				
目的・背景	【目的】花き地方卸売市場の維持管理に必要な各種用務を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、花きの流通の円滑化を図る。 【背景】昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の花きの流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年度に松山市中央卸売市場(花き部)を開設した。平成22年4月に松山市公設花き地方卸売市場へ転換した。				
対象・内容	【対象】松山市公設花き地方卸売市場及び関係者 【内容】花き地方卸売市場の維持管理に必要な光熱水費の支払い、保安警備、清掃業務、廃棄物処理、各施設・設備の保守点検業務等の委託を行う。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	保安警備業務委託		9,013
予算 (千円)	事業費計	28,238	27,145	26,659			電気代	8,003	
	国費・県費								
	市債								
	その他	15,319	13,149	10,925					
一般財源	12,919	13,996	15,734						
決算 (千円)	事業費計	21,393	21,252			主な 取組 内容 【R7】	・市場施設や設備の維持管理に必要な保安 業務、清掃業務、廃棄物処理及び各施設・設 備の保守点検業務を実施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他	12,448	11,135						
	一般財源	8,945	10,117						
	(執行率)	76%	78%						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記 事項			
	その他								
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	電気使用量の抑制		目標	290,000	290,000	290,000	290,000	市場関係者等の節電取り組み成果等による。	
			実績	280,177	275,213				
	現状維持	kWh	達成率	104%	105%				
成果指標	市場開場日数		目標	204	155	155	155		
			実績	204	155				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	市場施設等の維持管理を適正に行ったことにより、卸売業務が円滑に実施できたため。							
課題	人件費や単価等の上昇により、委託料の増加傾向が続いている。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の維持管理を行うため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	管理担当	連絡先	924-2311
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	花き部市場施設整備事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0633					
政策【分野】	人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる		—	—	
施策	産業を支える基盤づくりの推進	根拠法令	卸売市場法、松山市公設花き地方卸売市場業務条例、松山市公設花き地方卸売市場業務条例施行規則		
主な取組	流通機能の充実				
目的・背景	【目的】花き地方卸売市場の施設改修等を適切に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、花きの流通の円滑化を図る。 【背景】昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の花きの流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年度に松山市中央卸売市場(花き部)を開設した。平成22年4月に松山市公設花き地方卸売市場へ転換した。				
対象・内容	【対象】松山市公設花き地方卸売市場及び関係者 【内容】開設者として、円滑な市場業務が行えるよう、施設や設備の改修等を実施。 ・花き地方卸売市場の設備等の現状把握、設計業務、工事等の実施。 ・突発的な故障等に対する営繕工事等の実施。 ・委託業者、工事業者等への委託料、工事請負費の支出。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な経費 (千円) 【R7 決算】	花き卸売場棟LED改修工事		10,659
予算 (千円)	事業費計	3,000	31,100	5,500					
	国費・県費								
	市債		28,100						
	その他	3,000	3,000	4,631					
	一般財源			869					
決算 (千円)	事業費計	1,991	18,714			主な取組 内容 【R7】	・市場業務が円滑に行えるよう、施設や設備の改修等を実施。		
	国費・県費								
	市債		16,000						
	その他	1,991	2,714						
	一般財源								
	(執行率)	66%	60%						
人役	正規職員	0.1	0.1	0.1		特記事項			
	その他								
	合計	0.1	0.1	0.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	工事請負費の抑制		目標	3,000	31,100	5,500	0	適切な施設改修等の実施による。	
			実績	1,991	18,714				
	現状維持	千円	達成率	151%	166%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	施設の機能維持を図ることができたため。							
課題	施設の老朽化に伴い、工事請負費が増大している。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の生鮮食料品等の流通拠点として必要な施設の維持管理を行うため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	業務担当	連絡先	924-2311
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	花き部業務運営事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	1:直営
0633					
政策【分野】	人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる		—	—	
施策	産業を支える基盤づくりの推進	根拠法令	卸売市場法、松山市公設花き地方卸売市場業務条例、松山市公設花き地方卸売市場業務条例施行規則		
主な取組	流通機能の充実				
目的・背景	【目的】花き地方卸売市場の市場取引を適正に実施することにより、卸売機能を十分に発揮し、花きの流通の円滑化を図る。 【背景】昭和46年の卸売市場法制定により、松山市区域の花きの流通の円滑化及び安定供給を実現するため、昭和56年度に松山市中央卸売市場(花き部)を開設した。平成22年4月に松山市公設花き地方卸売市場へ転換した。				
対象・内容	【対象】松山市公設花き地方卸売市場及び関係者 【内容】関係法令に基づき、卸売業務の適正で円滑な実施を図る。 ・関係例規の整備。 ・市場関係者の業務の許可、指導、監督。 ・売買取引の監督等。				

2. 事業実施【Do】

		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度					
予算 (千円)	事業費計	546	421	173	主な経費 (千円) 【R7 決算】	卸売業者財務分析調査謝礼金			55
	国費・県費								
	市債								
	その他	411	411	173					
	一般財源	135	10						
決算 (千円)	事業費計	110	55		主な取組 内容 【R7】	・卸売業者財務分析調査を実施。			
	国費・県費								
	市債								
	その他	110	55						
	一般財源								
	(執行率)	20%	13%						
人役	正規職員	1.6	1.6	1.6	特記 事項	実施主体の都合により、フラワーデザインコンテスト「坊ちゃんカップ」の実施が見送られた。			
	その他								
	合計	1.6	1.6	1.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	財務分析(卸売業者)		目標	1	1	1	1	花きの円滑な流通や安定供給のため、関係者の財務分析を実施している。	
			実績	1	1				
	現状維持	件	達成率	100%	100%				
成果指標	「坊ちゃんカップ」開催事業補助		目標	1	1	0	0	実施主体の都合により、フラワーデザインコンテスト「坊ちゃんカップ」の実施が見送られた。	
			実績	0	0				
	現状維持	件	達成率	0%	0%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	卸売業者の財務分析を行うことで、花きの円滑な流通や安定供給に協力することができたため。なお、花き業界の発展や需要拡大を目的としたフラワーデザインコンテスト「坊ちゃんカップ」が実施主体の都合で開催できなかった。							
課題	新型コロナウイルス感染対策後にコロナ以前の経済活動に戻り、需要拡大を見込んでいたが、物価高騰などの影響により需要の落ち込みは改善されていない。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市場の運営に必要な業務であるため。

令和8年度 松山市事務事業シート（令和7年度実績分）

部局等名	農林水産部	課等名	中央市場課	担当G	業務担当	連絡先	924-2311
------	-------	-----	-------	-----	------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	松山市中央市場運営協議会負担金	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
0633					
政策【分野】	人と仕事と暮らしをつなぐ【経済・産業】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	市長公約	
政策別未来像	さまざまな仕事や働き方で、暮らしが豊かになる		—	—	
施策	産業を支える基盤づくりの推進	根拠法令	卸売市場法、松山市中央卸売市場業務条例、松山市中央卸売市場業務条例施行規則		
主な取組	流通機能の充実				
目的・背景	【目的】市場関係者と開設者が連携し、中央市場の取引の適正化と流通の円滑化を図る。 【背景】昭和49年度の中央市場開設に伴い、場内事業者が連携して市場運営の円滑化を図るため、市場取引、施設整備の取扱い、環境整備等を協議し、市場の活性化を図ることを目的に設置された。				
対象・内容	【対象】松山市中央市場運営協議会 【内容】市場活性化、青果部執行、花き売買取引の3つの委員会や各関係者から選出された代表者会、理事会を設置し、市場取引の適正化、環境整備、市場の活性化等について協議し、市場流通の円滑化と安定供給を図る各種取組みを実施できるよう、松山市中央市場運営協議会に負担金を支出する。				

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	卸売市場事業特別会計	款	卸売市場事業費	項	市場事業費	目	中央市場管理費
事業費／財源		令和6年度	令和7年度	令和8年度		主な 経費 (千円) 【R7 決算】	松山市中央市場運営協議 会負担金		700
予算 (千円)	事業費計	1,200	1,200	1,000					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	1,200	1,200	1,000					
決算 (千円)	事業費計	840	700			主な 取組 内容 【R7】	・中央市場内の事業者で組織する「松山市 中央市場運営協議会」で、場内環境整備や 消費拡大事業などの市場活性化事業を実 施。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	840	700						
	(執行率)	70%	58%						
人役	正規職員	0.5	0.5	0.5		特記 事項	市場開設50周年記念イベント事業が令和6 年度で終了したため。		
	その他								
	合計	0.5	0.5	0.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和7年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	大感謝キャンペーンポイント事業応募数		目標	17,000	17,000	17,000	17,000	応募数は伸び悩んでいるものの、10年以上実施している定番事業として認知度は高く、購買を促す効果がある。	
			実績	13,778	12,199				
	単年で増	件	達成率	81%	72%				
成果指標	夏休み親子市場見学イベント申込組数		目標	30	36	36	36	普段見られないせりや施設内見学など、小学生が楽しみながら市場への理解を深められるイベントとなっている。	
			実績	124	90				
	単年で増	組	達成率	413%	250%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	・ポイント事業は購買促進効果が見込まれることから、引き続き事業の活性化に取り組む。 ・夏休み親子市場見学イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止していたが、令和5年度以降は再開し、市場の意義や役割のPRに繋がる人気のイベントとなっている。							
課題	イベントの実施については、市場という特殊事情がある施設であることを踏まえて、引き続き新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の感染症には対策が必要である。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	市場の活性化を図るためには、各種取組みを推進することが必要であるため。